記者発表資料

令 和 ２ 年 ７ 月 ３ 日
国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所
北秋田市
鷹巣観光物産開発株式会社
秋田たかのす農業協同組合

道の駅「たかのす」を防災拠点とする災害時の相互応援協定を締結します

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、時間と規模を縮小して実施します。

能代河川国道事務所、北秋田市、鷹巣観光物産開発株式会社、秋田たかのす農業協同組合は、防災拠点としての機能を有する道の駅「たかのす」において、大規模な災害発生時又は発生のおそれがある場合に、「道の駅」設置者並びに管理運営者、道路管理者等が相互に連携、応援、協力をして適切な災害対処を行うことにより、地域住民や道路利用者の安全を確保することを目的として、この度、協定を締結することになりました。

近年、地震、風水害、土砂災害、雪害などの自然災害が頻発し、全国各地で甚大な被害が相次いでおり、早急な災害への備えが大変重要になっています。

道の駅「たかのす」は、北秋田市の地域防災計画に防災拠点施設として位置付けられており、非常用発電設備、貯水槽、防災用資機材、情報提供設備などの防災拠点としての設備を備えています。

今回、下記のとおり協定を締結して、官民が連携しお互いの持ち味を活かすことで、適切で迅速な災害対処、防災活動を行えることになります。

また、定期的に合同で防災訓練（前年度実施内容（別紙４））を実施して、非常時に備えてまいります。

記

１.日　時　　令和２年７月１５日(水)　１４時００分～１４時２０分

２.場　所　　道の駅「たかのす」　ぶっさん館別館　（別紙１～３）
住所：北秋田市綴子字大堤道下６２番地１
※取材をされる方は現地（上記）までお越しください。

３.出席者　　能代河川国道事務所長、北秋田市長、道の駅「たかのす」駅長 鷹巣観光物産開発株式会社 代表取締役社長、秋田たかのす農業協同組合 代表理事組合長

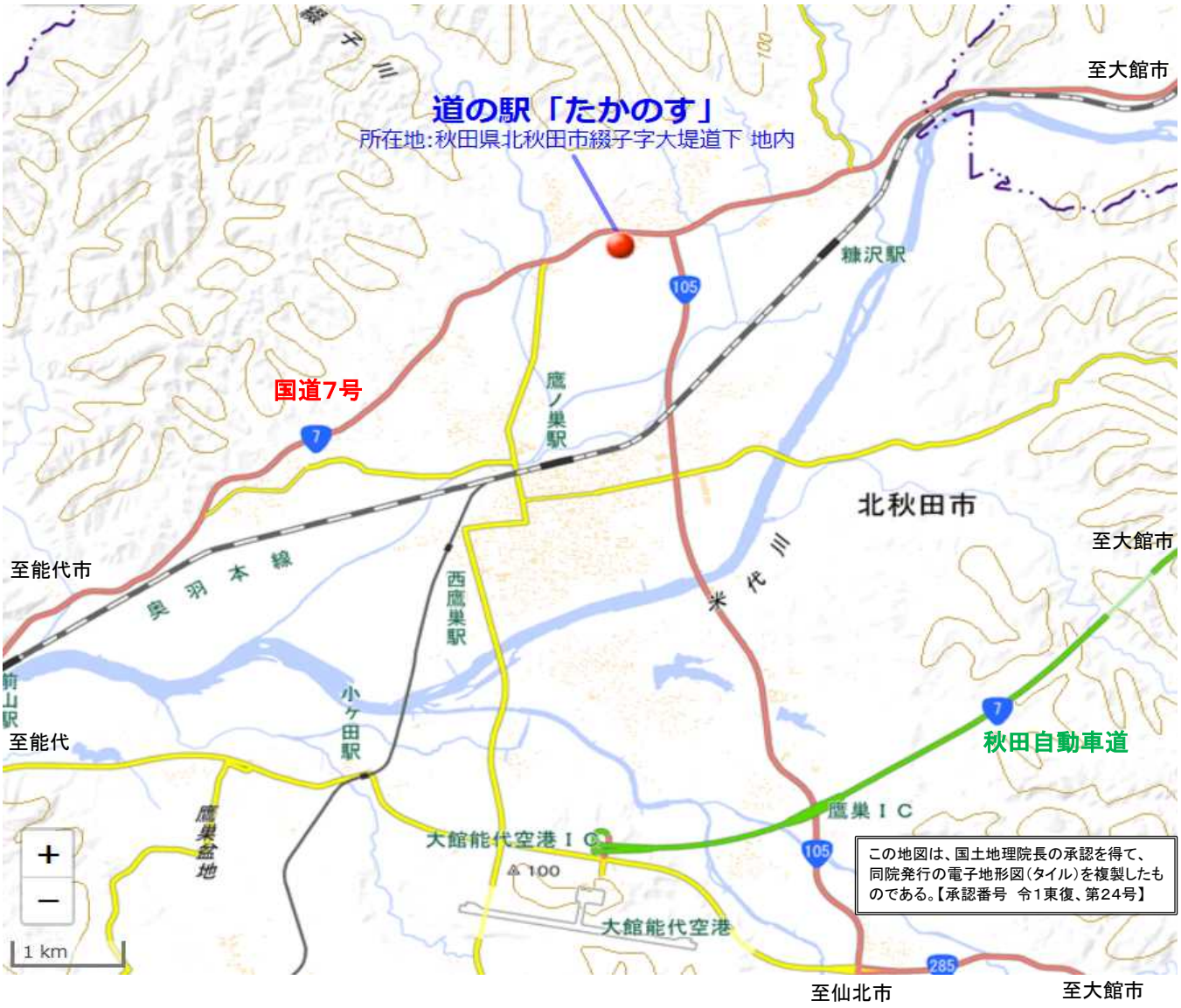
〇取材をされる方は、マスクの着用をお願いします。
記者発表先：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
副所長（道路担当）　佐藤（さとう） 幸喜（こうき）　TEL 0185-70-1001(代表)　(内線205)
北秋田市
総務部　総務課長　松橋（まつはし） みどり　TEL 0186-62-6602
道の駅「たかのす」駅長 鷹巣観光物産開発株式会社（ぶっさん館本館・別館、大太鼓の館）
代表取締役社長　笹木（ささき） 俊雄（としお）　TEL 0186-63-2233
秋田たかのす農業協同組合（産直おおだいこ）
経済部　購買課長　畠山（はたけやま） 豊（ゆたか）　TEL 0186-63-1230

別紙1

道の駅「たかのす」 位置図



別紙2

協定締結式
会場案内図

N

締結式会場

参加者、マスコミ関係駐車場範囲

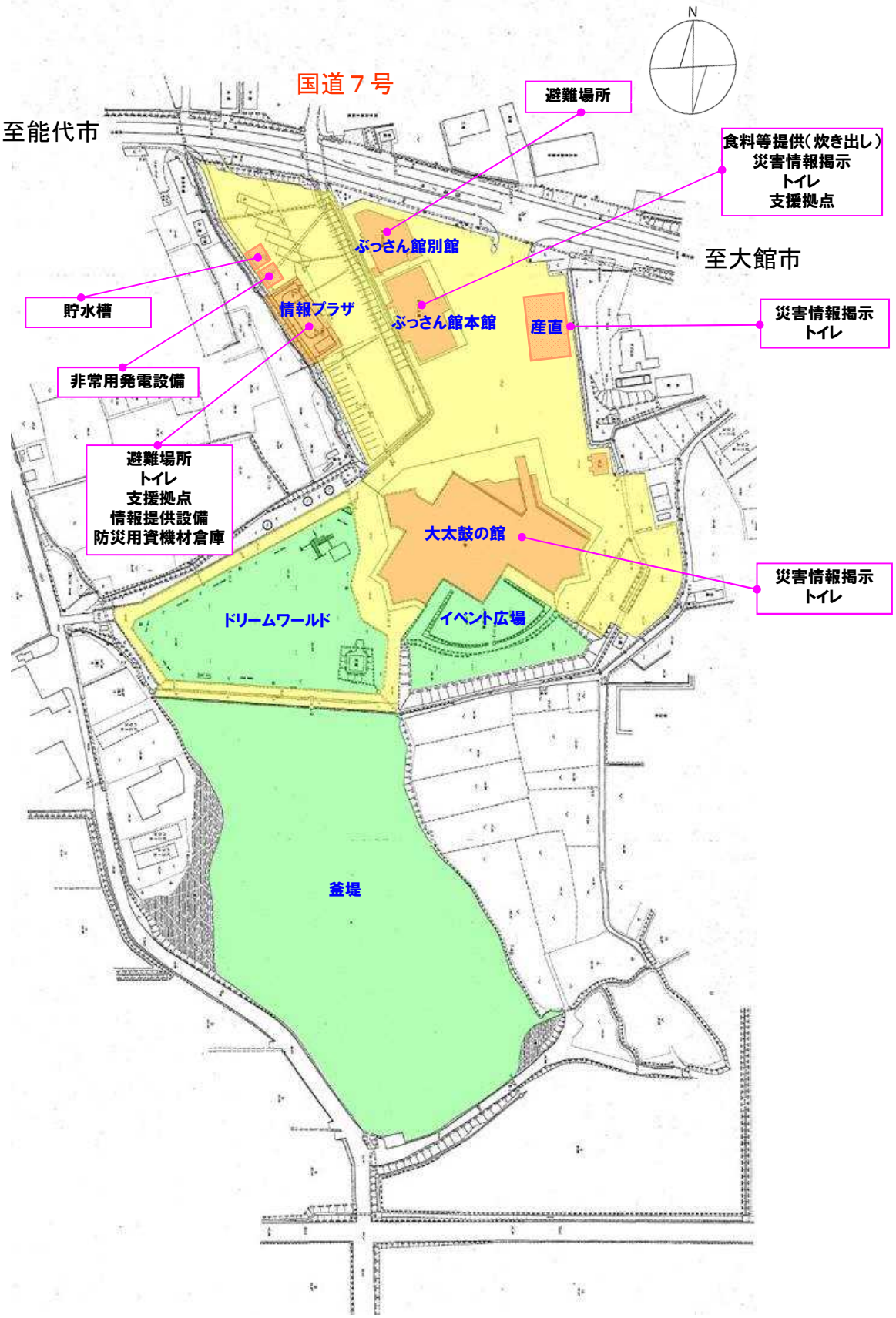
至　能代市

至　大館市



別紙３

道の駅「たかのす」施設配置図



別紙4

令和元年度　冬季雪害対応訓練

道の駅「たかのす」では、これまでも大雪時の立ち往生車両を想定した雪害対応訓練を行ってきましたが、その都度、各機関打合せにより実施してきました。
今回、協定を締結することで、各機関の役割が明確になり、より細かく対応内容や連絡体制を構築出来ることになります。
以下、昨年度実施した「冬季雪害対応訓練」の様子を写真により紹介します。
訓練は、「異常降雪により国道7号北秋田市坊沢地内において交通事故と吹きだまりが急激に進行し複数の立ち往生車両が発生した。」との警察から能代河川国道事務所への通報により開始されました。



●事故車からケガ人を救出

警察のパトカー、消防本部の指揮車、救急車が事故現場に駆けつけ、負傷者を緊急搬送している場面



●スタック車両をけん引

除雪グレーダが現地到着し、ダンプトラックをけん引している場面



●スタック車両移動後の除雪

立ち往生車両が排除されたことにより、集中除雪を開始した場面



●道の駅たかのすに避難所を設置

北秋田市からの指示により開設された避難所に避難してきた被災者を支援している場面